

お茶の時間

10日、岸田文雄首相が第101代首相に選出された。コロナが収束されたかのような人々の動きだが、弾けた感じはあまり伝わってこない。

2年前の世界に戻りたい。ドラえもん のどでもドアないかしら？

朝9時、チャムが。「休診日だったのね。お久しぶり〜ハイ甘柿」と友人来訪。この期間を、しかも画で書いていた時だったか、スーッと消えて笑顔が戻った。友だちは「お茶の時間」



ほんの少し剥る。左側は剥りすぎ。剥らないでチンチンなら弾ける音で判断を



靖国神社のギンナン



ナッククラッカー 20年以上使っている

「お茶の時間」は手書き。思慮深い書き手とは違いますが、心に響く言葉に出会えた。

気持が疲れたなあ、とホッとしたい時、文化人読者の奥野史也さんの随想も日報紙面で読み、少しだけ元気をもらった。

「手書きしてみないかい。そうすれば閉居しているという感じが呼び覚ます。深い洞窟が得られるから」とイヤリタの人類学者、テム・インゴールドが学生たちに呼びかけている。

「お茶の時間」は手書き。思慮深い書き手とは違いますが、心に響く言葉に出会えた。



心に響く言葉

銀杏

毎年この時季になると、千代田区九段に住む方からギンナンが届く。イチヨウ並木の美しい靖国神社前に家があり、町内で境内のギンナン拾いが一番に行われる、と伺った。

こちらは、いつも頂上だけで喜んでいたり、食するまで手間のかかる作業工程がある。

イチヨウの雌の木に生じた実が落ちる。それを拾う。種子の外種皮は独特の匂いを放つ。臭い。二三日ぬかせて柔らかくした外種皮をむき、核を水にさらし一日アク抜きをする。素手でむかぶれるので要注意。その後三日程干したラ出ま上り。殻の色が白くなるのが目安。

そして固い殻の核を割った中にある仁(にん)種子から種皮を取り去った中身を、炒ったり茹でたりして食べる。ミネラルが豊富。

我が家では食べたい量だけ紙封筒に入れ電子レンジで一分から一分半程加熱する。封筒に入れる前に殻を少し剥き、手間を省く。加熱し過ぎると実が硬くなる。殻を剥き、薄皮をむいた時に表れる翡翠色の美しさが食欲をそそる。

殻付きのままジップロックなどの袋に入れて、冷凍保存がおすすめです。

敷地内にある小山で、靖国神社のイチヨウが育っている。届いたギンナンを数個埋めたものだ。実の落葉の中でイチヨウの葉をみつけると嬉しくなっている。ひとひらの黄の葉っぱ。

歯のよもやま話 第五十一話

新潟県関係の歯科の偉人
二一 島峰 徹 (東京医科歯科大学創設者)

私の出身は東京医科歯科大学です。現在はお茶の水の駅から見て神田川の対岸の高層ビルになっていますが、入学当時の歯学部は石造りの四階建てのビルでした。正門は本郷通りに面していて、薄暗い正面玄関に立派な胸像がありました。それが新潟県出身の島峰徹先生とは、当時知る由もありませんでした。

島峰徹は明治十年新潟県刈羽郡石地(現・柏崎市)で生まれました。父は長岡藩の藩医で、戊辰戦争で官軍に敗れ職を失い、石地の、後に石油で成功する内藤久寛(日本石油創業者)の隣家で開業していました。その後片貝町に移り、中学卒業後医師を目指して金沢医専に入りますが、医師になるなら帝大に入ろうと退学し、金沢第四高等学校に入り直します。しかし父が急死し一家は貧窮のどん底に落ちてしまいました。母は牛を飼って牛乳を売って学資を苦心し、徹も知人に借金を懇願しなんとか卒業しました。

卒業後東京帝国大学医科大学に合格し、故郷の先輩、解剖学教授の小金井良精に会いに行きます。小金井は長岡藩士の一族で、「米百俵」で有名な小林虎三郎の甥で、作家の星新一の祖父です。そこで石油王内藤久寛に会い、小金井の口利きで援助を受けることになりました。卒業後小金井の解剖学教室に入局し、解剖学、組織学、人類学の手ほどきを受けます。

明治四十年ドイツベルリン大学医科大学歯学科に私費留学します。島

峰がいつ歯科を志したかは分かりませんが、小金井、内藤との三者の間で決めたようです。一年半で歯科の過程を修了し卒業します。ドイツで研究を続け歯の第二セメント質の発見、梅毒スピロヘーターの純粋培養などの成果を上げ国費留学生となります。前者は歯周病学の基礎となる研究であり、後者は東京帝大の伝染病研究所や新潟医科大学長の招聘話の元となったが断つたといえます。

大正三年帰国、東京帝大の歯科学教室に所属するも教授とそりが合わず、早々と『医術開業試験附属病院』(永楽病



島峰 徹

院) 歯科医長に転出。その歯科が発展的に『文部省歯科病院』になり院長に就任しました。ここで有為の歯科医師を集め、歯科を医学同様に重要なことと世間に認識させるための模範を示す官立歯科学校設立が必要と考え奔走します。ついに昭和三年十月『東京高等歯科医学学校』が創設され、島峰は学校長に就任しました。学校は最初一ツ橋の東京商科大学(現一橋大学) 校舎を借りていました。昭和五年、現在の御茶ノ水の、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大学) 跡地に移転しました。昭和一九年東京医学歯学専門学校となり、医学科を設置。昭和二年東京医科歯科大学となりました。島峰は昭和二〇年逝去。終生校長でした。

子田晃一

今年も干し柿作り

いつもより遅かったが、農作物直売所で購入の47個と頂戴した56個、計103個の渋柿を干した。

皮をむき、10個ずつ紐(干し柿用ひもが売っている)で、とめ、カビ防止のためにグラグラの湯の中で10秒湯通し。このひと手間、重要。手抜きは失敗のもと。面倒かとは思いますが、

2週間ほど美味しい干し柿が味わえる。快晴の屋下から、数日早く干したひとつをもぎ取り食べた。桃栗三年柿八年。農家の歴史でたわわに実ったままの柿の本をみるたびに、羨しいやら、もったいないやら。



干し柿から三日程の柿。重さうに吊り下がった姿も、いっとき見た。



だいぶ干し柿っぽくなった。もういいかい? 「まだだよ」

パプリカ (ナス科トウガラシ属)

野菜作りを楽しんでいる方から「赤か黄色か、しばらく置かないとわからないが...」と、ピーマンと一緒に濃い緑色の、つややかなパプリカ2つ頂戴した。

そんなのが、初めから赤や黄で育っていくのではないのか、と色の変化を眺めることにした。

数日たつて、ひとつか黄は色付いた。一日遅く、もうひとつは、赤に変わり始めた。

それを伝えると、「苗の時に赤か黄かわかっているのだけれど、待たなくてピーマンと一緒に緑色の時に収穫しちゃう」と愉快そうに言われた。

肉厚のパプリカも、色の変化まで丸ごと味わった。ごちそうさま。



つやつやで 美味しくろう。



生活を彩る花暦

虹 10月18日 朝6時過ぎ、北側の空に虹みつけ慌てて写真も撮った。

2階の部屋の窓から、電線を気にしなくても何とか撮ることができた。

秋の虹は、淡くはかなく消えてしまうような虹。憂愁の思いが深い。と辞典の説明にあった。

はかなさか人を魅了するのだろう。



スズメウリ (ウリ科スズメウリ属)

つる性の1年草スズメウリが、ハロウの飾りにでも、ヒギナンと一緒に居いた。初めて見るウリ。

沖縄ではちゅうり、おもちゃウリと呼ばれているとか。直径1cm~2cmほどの小さな縮入り(毒性)。リースを作ったりグリーンカーテンなどにするそう。



ホントに愛しい。

幼い頃、箸を持つことも、書くことも右で、矯正されたが、消しゴム、鉛筆、包丁、ハサミなど大抵は左利きのままで、文字は右を使うが、絵などの色塗りは左で、上書きも左で、細かい作業になると尚更左が楽になる。著者は左利きの脳内科医。



著者 加藤 俊徳
発行 2021年9月28日
ダイヤモンド社
定価 1300円+税

利き手の家系図
両親が「右利き」 — 95%
右利き > 左利き — 19.5%
両親が「左利き」 — 26.1%

利き手が異なるも脳の使い方、左利きの脳はバランス抜群。独創性が高い。左利きは認知症になりにくい。左利きの子に、右手も積極的に使わせるタイミングは10歳(小学4年生)。

「左利きは認知症になりにくい。ですって」と喜んだら、夫に笑われ、よろしいやありませんの、単純な人間で、ねえ。

いいなこの本

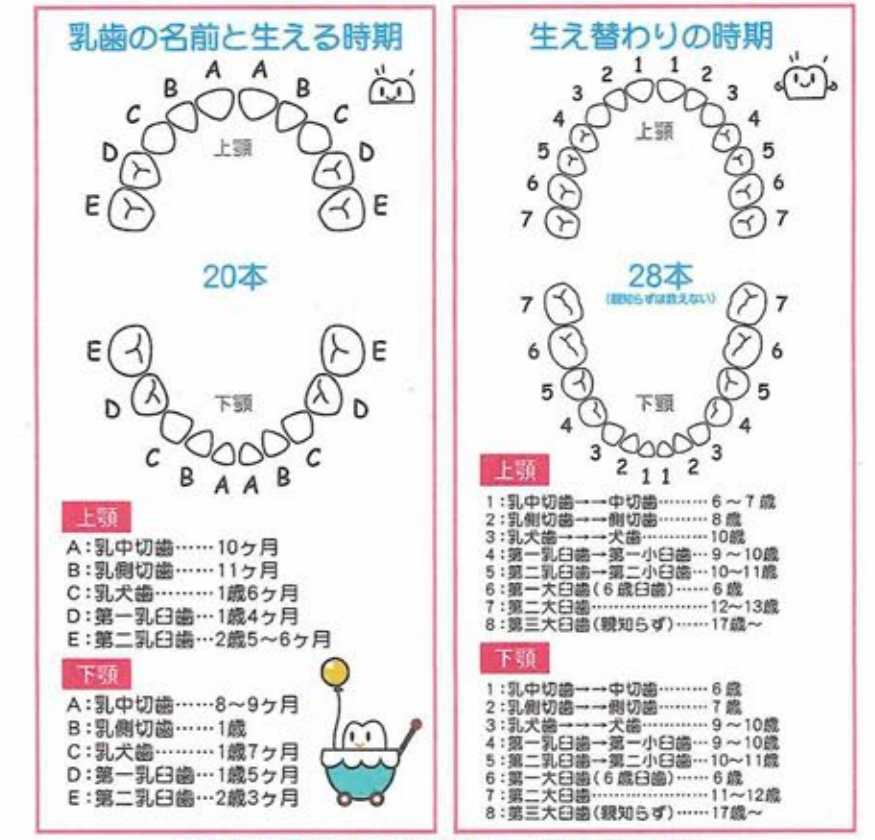
月のつぶやき

11月8日は、いいはの日です

乳歯が生え替わるまで

人の歯は一生に一度だけ生え替わります。乳歯から永久歯へ...。乳歯は生え替わるからといって大切になくてもよいということではありません。永久歯に生え替わるまでの重要な役割があります。あごの発達、顔の輪郭の形成、身体の発育、永久歯の歯ならびなどに影響は様々です。

乳歯のむし歯を放っておくと
乳歯のむし歯は永久歯の歯並びを悪くし、かみ合わせが悪くなる(不正咬合)原因にもなります。乳歯のむし歯を放っておくと、永久歯がむし歯になりやすくなったり、様々な弊害が出てきますので、早めに歯科医院を受診しましょう。



これはあくまで目安であり個人差があります。気になる場合はご相談ください。子田歯科医院